



▲JR品川駅観光プロモーションに合わせ、駅構内で行われた観光イベント

DC効果を追い風にした観光施策の展開

ふくしまDCの開催期間中、本県に訪れた観光客数は、対前年比約12%増の約1,332万人を数え、八重の桜等で順調だった平成25年の約1,324万人を超える結果となりました。特に本市には、3か月で約49万人が訪れていて、前年比の83%増となりました。

この様な中、自らの創意工夫による人口減少の克服と、活性化を目指した「地方創生」の取り組みが進められています。中でも観光は、交流人口の拡大と地域経済の活性化の面で重要な柱となっています。

こうした状況を踏まえ、本市では、個性あふれる観光地域をつくり、その魅力を積極的に発信し、さらに多くの観光客を呼び込むことが、地域の活性化につながるかと考え、既存イベントの拡充など、様々な観光施策を展開していきます。



また現在、様々な場面で本市をPRするのにも有効な観光DVD「四季彩白河（仮称）」を制作していて、本市の誇る歴史や伝統、自然のほか、ドローンによる空撮を収録する予定です。四

積極的に魅力を発信するため、今年度新たに観光CMやDVD等を制作しています。

昨年8月には、観光CM等で関東地方から誘客を図ることを目的に「JR品川駅観光プロモーション」を実施しました。品川駅は、1日平均約60万人が利用する、日本有数のターミナル駅です。250mある自由通路には、65インチのディスプレイが44台設置されていて、そこに本市の史跡・ラーメンなどの観光資源や、東京と本市がいか



▲観光DVD「四季彩白河」の中で使用されるドローンによる小峰城の空撮

**■Topic**

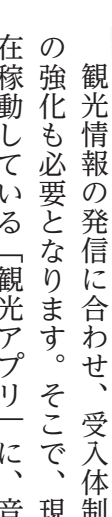
**白河市観光アプリ**

白河市観光アプリ「しろナビ」は便利な機能を搭載しています。現在地の観光情報を色分けし、分かりやすくしているほか、飲食店・観光地などのルート案内・音声紹介もできるようになっています。無料アプリですので、ぜひインストールしてください。

**iOS** 端末向け  
App Store

**Android** 端末向け  
Google Play ストア

効果的な発信に受入体制を合わせるなど、観光客の満足度を高める、新しい扉が開かれています。



今後これらの映像は、観光セールスや市内施設で放映されます。

季節々の豊かな表情をつづること、見た人を虜にし、旅への期待感を膨らませたいと考えています。

さらに、本市のシンボル小峰城や城下町の当時の風景を、実写や最新のCG技術で再現する映像の制作にも着手しています。

観光情報の発信に合わせ、受入体制の強化も必要となります。そこで、現在稼働している「観光アプリ」に、音声ガイド機能を追加しました。これは、観光施設を訪れた際、その史跡のいわれを音声で紹介するもので、観光施設を周遊する楽しさを作り出そうとするものです。このアプリの普及と利用促進を図るため（公財）白河観光物産協会や二ノ丸茶屋にタブレット端末を4台設置し、貸し出しを行っています。

**東京**  
Tōkyōから  
最短1時間10分  
**白河**  
Shirakawaへ

品川駅の通路が、白河一色になって、本当に驚いたワン!!

Shirakawa sightseeing promotion  
観光の情報発信と受入体制の強化  
**新しい観光の扉を開く**

本市には、毎年多くの観光客が訪れています。特に、昨年の4月から6月まで行われた「ふくしまステイネーションキャンペーン」(以下DC)では、来客数が県内市町村の中でトップの伸び率を記録しました。このDCの追い風に乗って、更なる交流人口の増加を目指し、現在、様々な観光施策を展開しています。今月号では「新しい観光の扉」と題し、その施策の一部を紹介します。

●本庁舎観光課 内2212